

シフトは約2週間に1回、土田氏が作成。『Airシフト』と向き合う時間は30分程度と、シフト作成の時間が大幅に減少した



勤務時間は午前、午後、通しでパターン化していたが、『Airシフト』により数十分単位での細かい勤務時間にも対応できるようになった

『Airシフト』を導入して人員配置のミスがなくなり、心理的な負担も軽減した。今後はスタッフを増員して事業拡大も視野に入れている



で株式会社リクルートが提供するシフト管理サービス『Airシフト』を導入した。「スタッフ用のシフト管理・給与計算アプリ『シフトボード』」経由で希望シフトを収集しています。スタッフから届いた希望シフトはシフト表に自動で反映され、大まかなシフトを組めるので、あとは細かい調整のみでシフト管理が楽になりました。

『Airシフト』の導入で、人員配置のミスがなくなり、心理的な負担も軽減した。今後はスタッフを増員して事業拡大も視野に入れている

また、土田氏自身の働く環境についても『Airシフト』の導入で改善されたという。これまで3〜4時間要していたシフト作成が、『Airシフト』により30分で完了するようになり、移動中や隙間時間を使ってシフト作成ができるようになり、時間の有効活用ができるようになったためだ。

大宮店での運用を経て、約1年後には本店でも『Airシフト』を導入。以前は2週間ごとに休み希望を提出してもらっていたが、現在は希望する出勤時間を提出してもらっているという。『Airシフト』を使えば、午前、午後通しという大まかな勤務時間でなく、柔軟な勤務時間に対応できます。例えば、本店勤務のパートさんは30代〜50代の主婦です。PTAがあるので30分出勤を遅らせたい」といった希望にも対応できると思ったのです。細かい出勤時間を選べるようになれば、家庭の事情に配慮したシフト組みができますし、より働きやすい環境をつくれると考えています」と土田氏は言う。

また、土田氏自身の働く環境についても『Airシフト』の導入で改善されたという。これまで3〜4時間要していたシフト作成が、『Airシフト』により30分で完了するようになり、移動中や隙間時間を使ってシフト作成ができるようになり、時間の有効活用ができるようになったためだ。

勤務時間の変更にも柔軟に対応 シフト作成の手間が減り 時間の有効活用が可能に

スタッフは『シフトボード』経由で希望を提出。提出日が近づくと自動でリマインドが送られるため、提出のし忘れを防止し、シフト希望が確実に集まる点もメリットだ。さらに、『シフトボード』内のチャット機能を使うとシフト調整依頼の連絡もできるので、今後は活用することも考えているが、今は本店では日報や連絡事項を共有するビジネスチャットアプリを使用している。土田氏がシフト調整を依頼すると、スタッフ間で話し合っ

土田氏は、企業として時代に合わせ変化し続けることが大切だと考えている。その一環として導入した『Airシフト』でシフト管理が効率化できたこと、人員配置の間違いが発生するストレスがなくなったことは大きかったという。こうした心理的ストレスの改善にも、『Airシフト』は役立っているようだ。

土田氏は、企業として時代に合わせ変化し続けることが大切だと考えている。その一環として導入した『Airシフト』でシフト管理が効率化できたこと、人員配置の間違いが発生するストレスがなくなったことは大きかったという。こうした心理的ストレスの改善にも、『Airシフト』は役立っているようだ。

土田氏は、企業として時代に合わせ変化し続けることが大切だと考えている。その一環として導入した『Airシフト』でシフト管理が効率化できたこと、人員配置の間違いが発生するストレスがなくなったことは大きかったという。こうした心理的ストレスの改善にも、『Airシフト』は役立っているようだ。

土田氏は、企業として時代に合わせ変化し続けることが大切だと考えている。その一環として導入した『Airシフト』でシフト管理が効率化できたこと、人員配置の間違いが発生するストレスがなくなったことは大きかったという。こうした心理的ストレスの改善にも、『Airシフト』は役立っているようだ。

土田氏は、企業として時代に合わせ変化し続けることが大切だと考えている。その一環として導入した『Airシフト』でシフト管理が効率化できたこと、人員配置の間違いが発生するストレスがなくなったことは大きかったという。こうした心理的ストレスの改善にも、『Airシフト』は役立っているようだ。



埼玉県久喜市栗橋中央1-17-1
営業時間：10時～16時
定休日：日曜・祝日
https://tsumugiya.net/ec/

サポート体制
『Airシフト』への登録後は、専門スタッフによる電話での導入サポートを実施。操作に困ったときには気軽に相談できる体制が整えられている。

お問い合わせ先
Airシフト ヘルプデスク
電話：0120-759-225
(平日10時～19時)
https://faq.airshift.jp/hc/ja/requests/new

シフトボード
スタッフ用シフト管理アプリとして
圧倒的な人気の無料アプリで、
ダウンロード数は800万以上
『シフトボード』上で、店舗が用意する二次元バーコードを読み込むだけで簡単に連携、シフトの提出・確認ができる他、店側とチャットでやりとりが可能。
また、一度追加したシフトは履歴から素早く複数追加できるなど、管理も楽に行える。毎月の給与を自動計算してくれる機能など、スタッフが欲しい機能を網羅している点が、圧倒的な人気を誇る理由だ。

注目の「Airシフト」導入取材
つむぎや・土田物産株式会社
やりとりも作成もラクになるシフト管理サービス
AirSHIFT
小麦粉を使った物販店兼カフェ
スタッフ数/社員2名、パート・アルバイト16名
取締役副社長 土田康太氏



シフト作成時間が4時間から30分に短縮 効率的なシフト管理が実現し 人員配置ミスなどのストレスからも解放

大正元年創業の粉問屋「つむぎや」。近年では製粉の流通だけでなく、小麦粉を使ったオリジナル商品や関連商品で個性を打ち出している。看板は埼玉県産小麦粉100%を使った「つむぎうどん」。また新たな埼玉銘菓として打ち出している、埼玉小麦と狭山抹茶やほうじ茶を使った「ふいなんしえ」「こ、ふいなんしえ」等、お土産ニーズ等にも対応した商品を販売している。

こうした商品は、埼玉・栗橋にある「つむぎや 栗橋本店&カフェサロン（以下、本店）」と、JR大宮駅エキキュート大宮の「埼玉粉問屋つむぎや（以下、大宮店）」で販売。本店は遠方からわざわざ車で来店するファンも多く、お客様がゆっくり休めるようカフェも併設している。

表計算ソフトによるシフト管理で 人員の過不足が発生 原因はスタッフとの コミュニケーション不足

粉問屋を母体に、カフェを併設した本店と大宮店の運営を行うつむぎや・土田物産株式会社。取締役副社長の土田康太氏は4代目であり、祖父の時代より小麦粉を使った商品の取り扱いを開始、うどんやカレーなどは取引先のメーカーによるOEMでの商品化を行っている。一方で土田氏が中心となって開発した「ふいなんしえ」などの一部菓子類は自社工場で製造。若年層から年配、家族連れまで



埼玉小麦100%で作った「つむぎうどん」や、その年にとれた新小麦を使った「新小麦うどん」の他、埼玉銘菓の「ふいなんしえ」やひと口サイズの「こ、ふいなんしえ」など小麦粉を使った加工品も販売し人気を集めている

幅広いお客に親しまれている。本店は社員2人、パート4人が、大宮店はアルバイト12人が在籍。本店は常時3人体制で、販売管理や一部EC業務、カフェでのサービスなどを担っている。「本店のシフト管理は表計算ソフトで作ったカレンダーに、休みの希望を記入する方式を採っていました。勤務時間は午前、午後、通しの3パターンだけだったので、あとはコミュニケーションを取りながら適宜シフトを調整していました。私も常に現場にいたので、スタッフとのやりとりもスムーズでした。それが不便だと感じたことは一度もなく、こうしたアナログなやり方が普通なのだろうと思っています」と土田氏。

しかし2018年7月に大宮店をオープンし、本店と同じように表計算ソフトで管理したところ、人員の過不足が発生。原因は土田氏が現場に常駐しておらず、スタッフと十分なコミュニケーションが取れなかったためだ。そこで初めてシフト管理の仕組み化を考え、まずは大宮店